

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

(2011年10-12月期実績、2012年1-3月期見通し)

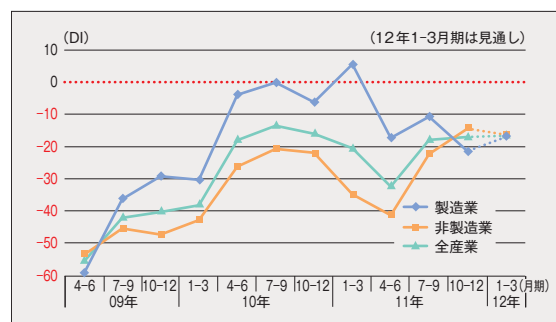
1 業況概要(自社)

DIはわずかに上昇、先行きは横ばい

静岡県東部地域における2011年10-12月期の業況判断DI(対前年同期比)は全産業で-16.9(前期-17.8)とわずかに上昇した。うち、製造業の業況判断DIは-21.3(同-10.6)と下落に転じたが、非製造業では-14.3(同-22.2)と回復感が持続しており、製造業とは対照的な動きを示している。

2012年1-3月期の予想DIは全産業で-16.5と今期比横ばいの見通しとなっている。業種別では製造業が-16.9と今期比上昇、非製造業では-16.2で同下落と先行きには方向感が乏しく、全体として

横ばいの状態で推移するものとみられる。



業種別天気図



(12年1-3月期は見通し)

	業況好調 ←				→ 業況不振			
	製造業	食料品	紙・パルプ ・紙加工品	一般機械 器具	非製造業	卸・小売・ サービス業	旅館・その 他宿泊所	建設業
2011年 7-9月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
2011年 10-12月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
2012年 1-3月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

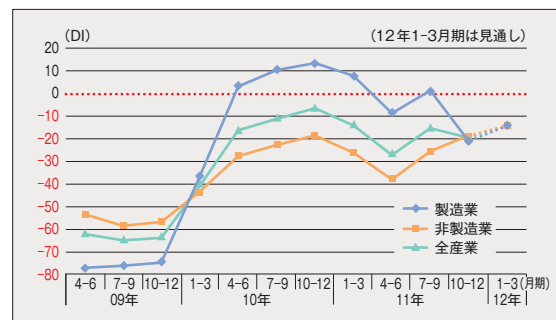
2 売上動向

製造業は大幅に低下、非製造業では改善続く

2011年10-12月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-19.8(前期-15.6)と低下に転じた。製造業では金属製品や一般機械器具での落ち込みが大きく、全体DIも-21.3(同1.0)と前期から大幅に低下した。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所など多くの業種でDIが上昇し、全体DIは-18.8(同-25.7)と改善が続いている。

2012年1-3月期の予想DIは、全産業で-14.5と今期比上昇を予想している。今期落込んだ製造業が-14.6と上昇に転じ、非製造業も-14.4と改善が

持続する見込みである。



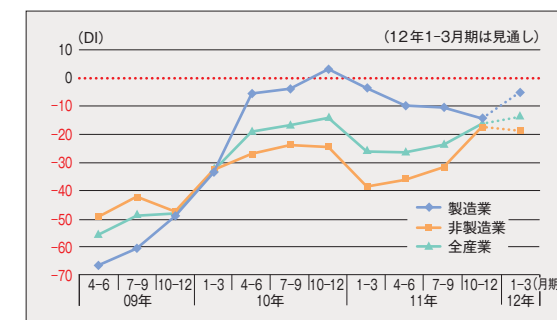
3 利益動向

製造業は低下する一方、非製造業では改善が進む

2011年10-12月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-16.5(前期-24.0)となり、回復傾向が続いている。製造業は-14.6(同-10.7)で売上動向と同じくDIが低下している。金属製品、一般機械器具での低下が目立つ。一方、非製造業では各業種でDIの改善が進み、全体DIは-17.6(同-32.0)と大きく上昇している。

2012年1-3月期(見通し)の予想DIは、全産業で-14.0と改善が見込まれる。ただし、製造業では-5.6と上昇に転じるのに対し、非製造業は-19.0と

やや停滞が見込まれる。



4 経営上の問題点

「受注・売上の停滞・減少」「人材の育成」がそれぞれ若干上昇

1位から8位までの順位は前期と同様であるが、1位の「受注・売上の停滞・減少」(65.8%、前期64.1%)と3位の「人材の育成」(35.0%、同33.7%)の比率が若干上昇した一方で、2位の「過

当競争・製品安」(39.9%、同41.7%)は若干比率を低下させている。また、「原材料・仕入商品の値上がり」は26.3%(同27.5%)と前期に続き低下している。

(社、%)

	11年4-6月期		11年7-9月期		11年10-12月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	184	68.1	177	64.1	160	65.8	→
2. 過当競争・製品安	117	43.3	115	41.7	97	39.9	→
3. 人材の育成	69	25.6	93	33.7	85	35.0	→
4. 原材料・仕入商品の値上がり	89	33.0	76	27.5	64	26.3	→
5. 従業員の高齢化	54	20.0	67	24.3	52	21.4	→
6. 生産・販売能力の不足	53	19.6	57	20.7	48	19.8	→
7. 人件費の増加	42	15.6	40	14.5	32	13.2	→
8. その他経費の増加	34	12.6	38	13.8	26	10.7	→

調査の概要

1. 調査目的/静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業/静岡県東部地域に立地する企業1,050社 回答数243(回答率23.1%)
3. 調査方法/当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間/実績:2011年10-12月期 見通し:2011年1-3月期
5. 調査時点/2011年11-12月
6. その他/本調査は、12月2日時点の集計による速報値に基づいて分析しています。

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標